

教科教育専攻

国語教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

日本語による豊かな言語文化を背景に、
児童・生徒の日本語運用能力を高めることのできる教師を育てます。

学びのポイント

1 発達段階に応じた 日本語運用力の育成

国語教育専修では小学校教諭一種免許と中学校教諭一種免許(国語)、加えて必要単位を履修すれば、高等学校一種免許(国語)を取得できます。

成長とともに大きく変化する子どもたちの国語力に対応しながら、無限の可能性を秘めた子どもたちの国語力を最大限に引き出せる教師を目指します。



2 少人数・実践重視の 授業

授業では個人やグループでの発表を多く取り入れ、活発な議論が行われます。少人数であるため自然と発言・発表の機会が増え、教員からもきめ細かな指導を受けることができます。また、地元奈良や周辺のフィールドを生かした学外での研修も積極的に行っています。

3 先輩達との交流の場・ 国文学会

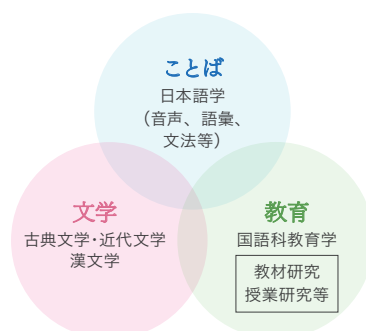
国語教育専修は、教員、学生、大学院生そして卒業生とが一体となって奈良教育大学国文学会を組織し、研究発表会の開催、機関誌『国文—研究と教育』の刊行を行っています。現場に出た卒業生の研究発表や教育実践報告も行われ、先輩から直接に学ぶことができます。何より人間的なつながりを大切にしています。



学びの領域

日本語を教える プロになる上で学ぶ 3つの領域

ことば・文学・教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年までに各領域の基礎を学び、3年以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深め、その成果を卒業論文にまとめます。



国語教育専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	初等教科教育法(社会)			教育実習事前指導		国語科教育学特講
3・4時限	書道(書写を中心とする)		漢文学演習Ⅰ	教育実習事前指導		
5・6時限		日本語学研究Ⅰ		中等教科教育法Ⅲ(国語)	生徒指導(進路指導を含む)・教育相談ⅡB	
7・8時限				近代文学研究		
9・10時限	国語科教育学研究Ⅱ			ゼミ		



日本語学研究Ⅰ

日本語学の基礎について学び、国語科教材の作成について考えることができます。



国語科教育学研究Ⅰ

国語科教育の内容や方法を学び、今日の国語科教育における教材開発の観点や方法について考える授業です。



国語科教育学演習Ⅰ

国語科教育の基礎理論を学び、卒業論文に必要な研究発表能力を身につけるゼミ形式の授業です。



中等教科教育法Ⅰ(国語)

中学校の国語科教員として求められる基礎的知識や技能を学ぶ授業です。

主な開講科目

初等教科教育法(国語)／日本文学概説Ⅱ／日本語学概説Ⅱ／日本文学史Ⅰ
中等教科教育法Ⅱ(国語)／近代文学研究／漢文学研究／古典文学演習Ⅰ
国語科教育学演習Ⅱ／国語(書写を含む。)/近代文学演習Ⅰ／日本語学研究Ⅰ

取得できる免許状

- ・[初等教育履修分野]小学校教諭一種 等
- ・[中等教育履修分野]中学校教諭一種(国語) 等

(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

昨年度は卒業生のうち80%以上が、小学校、中学校、高等学校の教員として就職しています。その他の進路は、公務員および一般企業への就職、大学院進学などがあります。

教員および専門分野(令和2年5月1日現在)

- ・棚橋 尚子教授／国語科教育
漢字指導論・「読むこと」の教育にかかわる研究
- ・米田 猛特任准教授／国語科教育
表現指導論・語彙指導論・言語文化指導論に関する研究
- ・前田 広幸教授／日本語学
日本語の音声・音韻の歴史的推移や地域的変異についての研究
- ・有馬 義貴准教授／古典文学
「源氏物語」などの物語文学・古典教育の研究
- ・日高 佳紀教授／近代文学
日本の近代文学をめぐる雑誌・新聞等メディアや読者の研究
- ・橋本 昭典教授／漢文学
孔子、老子、莊子など諸子百家を中心とする中国古代思想の研究